

平成 28 年度事業報告書

近年、地域経済・地場産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況であるが、当センターは地場産業の振興拠点施設としての機能を強化しながら、効果的な事業運営に務めた。

本年度は、特に旅行エージェント等に対して誘客活動を積極的に実施するとともに、富山県の伝統的工芸品の PR に努め、地場産業の情報提供・収集事業の充実を図った。

また、「第 83 回東京インターナショナルギフトショー春 2017」に出展し、「越中おもてなし工芸品展開実行委員会」とともに県内の伝統工芸産地と連携を図り、販路開拓に務めた。

新たな取り組みとして、ものづくり体験ユーザーのニーズに対応するため、少人数の受入にも着手した。

一方、経営面では環境の厳しい中、積極的に経営改善に努めた。

主な資金収支内容としては、事業活動収入の展示販売場売上が 24,132 千円と対前年△4,306 千円と減収であったが、事業活動支出では事業内容、経費縮減などの改善を図り、事業活動収入計は 106,937 千円、事業活動支出計が 95,822 千円で収支差額は 11,115 千円となった。

また、投資活動収支では、計画中の 5 階トイレと駐車場の改修工事の実施と低層棟エレベーター改修工事のための積立を行い、投資活動収入計は 1,453 千円となり、投資活動支出は 5,981 千円で収支差額は△4,528 千円となった。

財務活動収支においては、長期借入金の返済により、収支差額は△7,165 千円であった。

本年度は、センター近隣の駐車場の借用が出来なくなったことにより、急ぎよ実施した駐車場改修工事(2,808 千円)の支出があったものの、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額を△578 千円に留め、前期繰越収支差額 9,994 千円を加えた次期繰越収支差額は 9,416 千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1)高岡地域地場産業センター設置管理事業

施設改修及び清掃や修繕により、利用しやすい施設運営を図った。

- ・高層棟 5 階トイレ改修工事
- ・駐車場改修工事

(2)施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行うものについて、施設の貸出を行い、期間・利用料について施設利用規程に基づき優遇措置を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1)販路開拓事業

伝統工芸品産業支援事業を活用し、首都圏における展示会「第 83 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2017」へ出展し、新しい顧客の開拓を目指し積極的に高岡地域の伝統的工芸品の PR に努めた。併せて、当センターが企画組織した「越中おもてなし工芸品展開実行委員会」を継続支援し連携することで、地場産業の振興と育成を図り、伝統的技術および商品の普及・PR の強化に努め、同委員会において開発された工芸品についても同時出展し、需要開拓に努めた。

「第 83 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2017」

- ・日 時 平成 29 年 2 月 8 日(水)～10 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 11 番地 1 号)
- ・出展数 28 社、154 点
- ・来場者数 全体で 200,867 人(会期中のお問い合わせ件数：193 件)

(2)地場産業品普及事業

①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、高岡地域の地場産品の PR を行った。

ア「じばさんフェア 2016 全国うまいもの市」への出展

- ・日時 平成 28 年 11 月 12 日、13 日
- ・場所 山口県防府市 (公財)山口・防府地場産振興センター

イ「じばさんフェア 2016」への出展

- ・日時 平成 28 年 11 月 19 日、20 日
- ・場所 広島県福山市 (一財)備後地域地場産振興センター

ウ「和歌山地場産フェア」への出展

- ・日時 平成 28 年 11 月 19 日、20 日
- ・場所 和歌山県和歌山市 (公財)和歌山地域地場産振興センター

②観光関連事業への参加協力

ア「第 65 回金沢百万石まつり 加賀百万石「盆正月」」への出展

- ・日時 平成 28 年 6 月 4 日、5 日
- ・場所 石川県金沢市 金沢城公園

イ「第 28 回多賀城あやめまつり」への出展

- ・日時 平成 28 年 6 月 18 日、6 月 19 日、6 月 25 日、6 月 26 日、7 月 2 日
- ・場所 宮城県多賀城市 多賀城跡あやめ園

ウ「第 9 回大人の文化祭」への出展

- ・日時 平成 28 年 7 月 2 日、3 日
- ・場所 長野県長野市 オリンピック記念アリーナ「エムウェーブ」

エ「第 91 回謙信公祭」への出展

- ・日時 平成 28 年 8 月 20 日、21 日
- ・場所 新潟県上越市 春日山神社

オ「ふるさと全国県人会まつり 2016」への出展

- ・日時 平成 28 年 9 月 10 日、11 日
- ・場所 愛知県名古屋市 久屋大通公園久屋広場

カ「ふるさと回帰フェア 2016」への出展

- ・日時 平成 28 年 10 月 22 日
- ・場所 東京都千代田区 東京国際フォーラム

③高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

本館展示場において、伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。季節ごとの企画展示などを充実させ、より興味を深めてもらう方法を工夫しながら、来館者の増加に努めた。

④「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

(3)来館者誘致事業

県内外の旅行エージェント等に対して地場産品や当センターの情報提供に努め、来館者の誘致に努めた。新高岡駅に開設した新高岡駅観光交流センターのGALLERY MONO-FUに当センターのポスターを掲示するなど、誘客に努めた。

(4)地場産業情報提供事業

①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページの改修を行い、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるような内容に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペースを利用した情報提供

1階ロビーを活用し、伝統工芸高岡漆器協同組合の「高岡漆器展示会」(6/24～6/26)や、伝統工芸高岡銅器振興協同組合の「後継者育成事業作品展示会」(2/10～2/17)の開催、2階大ホールでは、富山県伝統工芸士展(8/11～8/13)の開催などにより情報提供を行った。

③県内地場産品の情報提供を目的とした産業資料館の充実

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

3 人材育成事業

(1)青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援した。体験実習及

び見学を訪れた人数は 1,583 人(昨年 1,775 人)であった。

また、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援を行った。

①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。

平成 28 年 6 月 9 日を初回に、年間 23 日間にわたって延べ 21 校(36 クラス、942 名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学 5 年生 19 校 (33 クラス、824 名)、小学 6 年生 3 校 (3 クラス、70 名)

錫の鋳込みを実習

イ 漆器の体験

中学 1 年生 1 校 (2 クラス、48 名)

螺鈿貼りを実習

ウ 産業資料館の見学

小学 5 年生 8 校 (16 クラス、463 名)、小学 6 年生 4 校 (5 クラス、105 名)

中学 1 年生 2 校 (3 クラス、73 名)

②教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1 講座 2 日 (6 時間) の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々 1 講座開催した。

鋳物体験講座受講者数 6 名。漆器体験講座受講者数 10 名。

・漆器体験講座 平成 28 年 7 月 28 日(木)、8 月 1 日(月) 午前 9 時～12 時

・鋳物体験講座 平成 28 年 7 月 28 日(木)、8 月 1 日(月) 午後 1 時半～4 時半

(2) 工芸技術体験普及事業

広く一般市民に対し、工芸技術を体験できる機会を提供した。

また、観光者が気軽に立ち寄り体験できるよう試験的に 3 月の日曜、祝日に 1 名から受け入れる体験事業を実施した。

・鋳物体験 (ミニ水盤、ぐいのみ等の製作体験) 27 団体 393 人の参加

・漆器体験 (ペンダント、ミニパネルなどの加飾体験) 9 団体 94 人の参加

(3) 産学官連携事業

引き続き漆圃場において漆木の育成を行った。また平成 21 年度に植樹した漆木が 8 年経過したことから、今後の漆掻きを行うまでの方法や育成方法等について学ぶべく丹波

漆への現地視察を実施し知識向上に努めた。

①漆木育成

- ・連携団体 高岡市
富山大学 芸術文化学部
伝統工芸高岡漆器協同組合
高岡地域文化財等修理協会
鞍馬寺自治会
公益財団法人高岡地域地場産業センター
- ・日 程 平成 28 年 4 月 9 日 雪囲い外し、肥料
平成 28 年 5 月 22 日 草刈り、江浚い
平成 28 年 7 月 31 日 草刈り
平成 28 年 9 月 11 日 草刈り
平成 28 年 11 月 26 日 雪囲い
- ・場 所 第 1、第 2、第 3 漆木実験圃場（高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近）

②漆木の現地視察研修

- ・参加者 富山大学 芸術文化学部の教員、学生
高岡地域文化財等修理協会 会員
鞍馬寺自治会
公益財団法人高岡地域地場産業センター 計 1 2 名
- ・視察場所 京都府福知山市夜久野町
- ・実施日 平成 28 年 10 月 8 日
- ・指導者 NPO 法人丹波漆 理事長 岡元嘉明、理事 山内耕祐
- ・内容 漆木圃場の現場視察、漆掻き実演、漆掻き職人との意見交換等

4 地場産業支援事業

(1)商品開発支援事業

①商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開を通じた情報提供を行ったほか、ニーズの把握に努め業界へのフィードバックを行った。

②POS 管理によるマーケティング支援

展示場での販売実績による POS データを活用し、消費者ニーズの分析を行い、業界へと還元した。今年度も引き続き POS データを取組む独自の販売集計システムの導入により、各施設における販売実績を迅速に処理し、産地組合等への情報提供に努めた。

(2) 産業支援事業

① 事務運営による団体支援

ア 高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して支援を行った。

イ 富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する工芸士展の開催等に対して支援した。

第 20 回富山県伝統工芸士展（伝統的工芸ふるさと体験・交流事業併催）

- ・ 日 時 平成 28 年 8 月 11 日(木・祝日)～13 日(土)
- ・ 場 所 高岡地域地場産業センター 2 階大ホール
- ・ 主 催 富山県伝統工芸士会

ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・ 日 時 平成 28 年 8 月 7 日(日)
- ・ 場 所 高岡地域地場産業センター 2 階鋳物工房
- ・ 内 容 「錫製バンゲル」の製作

(イ) 漆器に親しむつどい

- ・ 日 時 平成 28 年 8 月 6 日(土)、7 日(日)
- ・ 場 所 高岡地域地場産業センター
- ・ 内 容 青貝塗り加飾の体験（小箱）

(ウ) 井波彫刻の体験教室

- ・ 日 時 平成 28 年 9 月 11 日(日)
- ・ 場 所 木彫りの里
- ・ 内 容 鋳り皿

(エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・ 日 時 平成 28 年 10 月 18 日(火)
- ・ 場 所 砺波市立鷹栖小学校
- ・ 内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

(オ) 越中和紙の体験教室

- ・日 時 平成 28 年 7 月 29 日、11 月 29 日、12 月 2 日、6 日
- ・場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

②その他団体に対する支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

第 22 回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・日 時 東京ビッグサイト 平成 28 年 9 月 7 日(水)～9 月 9 日(金)
代官山蔦屋 平成 28 年 9 月 9 日(金)～9 月 11 日(日)
- ・場 所 東京都渋谷区
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

イ 高岡巧美会

ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 28 年 8 月 19 日(金)～8 月 24 日(水)
- ・場 所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主 催 高岡巧美会（高岡市伝統工芸産業技術保持者）、高岡市

ウ 工芸都市高岡 2016 クラフトコンペティション実行委員会

工芸都市高岡 2016 クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・日 時 高岡展 平成 28 年 9 月 22 日(木)～9 月 26 日(月)
東京展 平成 29 年 2 月 23 日(木)～3 月 20 日(月)
- ・場 所 高岡 大和高岡店／東京 松屋銀座
- ・主 催 工芸都市高岡 2016 クラフトコンペティション実行委員会

エ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業に対し支援を行った。

(ア)「高岡漆器展示会」の開催

- ・日 時 平成 28 年 6 月 24 日(金)～26 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター1 階ロビー

(イ)「第 51 回全国漆品展」への出展

- ・日 時 平成 28 年 9 月 16 日(金)～28 日(水)
- ・場 所 青山スクエア
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会

(ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・日 時 平成 28 年 4 月 1 日(金)～平成 29 年 3 月 31 日(金)
- ・場 所 青山スクエア

(エ) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・日 時 平成 28 年 11 月 24 日(木)～27 日(日)
- ・場 所 福井県鯖江市

(オ) 越中おもてなし工芸品展開実行委員会

消費者・小売店等のニーズ調査を実施し、調査内容を反映した試作品開発に取り組んだ。開発した試作品は国内最大規模の見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー」に出展し、バイヤー等の意見聴取と広報に努めた。

「第 83 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2017」

- ・日 時 平成 29 年 2 月 8 日(水)～10 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 11 番地 1 号)
- ・出展数 17 社、210 点
- ・来場者数 全体で 200,867 人(会期中のお問い合わせ件数：84 件)

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

入居者が快適に利用できるよう適宜清掃や修繕を行い、施設の環境整備に努めた。

2 施設貸出事業

館内環境の整備につとめ、ホール・会議室とも一層の利用率向上に努めた。

3 一般品目販売事業

施設利用者の利便に供するような飲料品や観光土産品等、公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の1割を目安に取り扱いを継続した。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1)理事会

- ア ・ 第 11 回開催 平成 28 年 4 月 1 日（金）
 - ・ 主な審議内容 副理事長（代表理事）の選定（みなし決議）
専務理事（業務執行理事）の選定（みなし決議）
役員報酬規程の改正（みなし決議）
平成 28 年度収支予算の補正（みなし決議）

- イ ・ 第 12 回開催 平成 28 年 5 月 24 日（火）
 - ・ 主な審議内容 平成 27 年度事業報告及び収支決算等

- ウ ・ 第 13 回開催 平成 29 年 3 月 27 日（月）
 - ・ 主な審議内容 平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)等

(2)評議員会

- ア ・ 第 1 回開催 平成 28 年 4 月 1 日（水）
 - ・ 主な審議内容 理事及び評議員の選任（みなし決議）
役員報酬規程の改正（みなし決議）

- イ ・ 定時評議員会開催 平成 28 年 6 月 7 日（火）
 - ・ 主な審議内容 平成 27 年度の決算書類の承認
評議員の選任及び役員の選任

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換するとともに、協議会として地場産業の育成・振興に関する重要事項に関して、国等に対して陳情を行った。

総会 ・日時 平成 28 年 7 月 7 日(木)
・場所、主催 (公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター